

H25年建築1級学科試験問題

- No1 伝熱に関する記述として、最も不適当なものはどれか。
- 1 複数の材料で構成された多層壁の熱伝導抵抗は、材料ごとの熱伝導抵抗の合計値で表される。
 - 2 壁の内部に中空層を設け2重壁とする場合、中空層が厚くなればなるほど断熱効果が高くなる。
 - 3 熱放射は、電磁波による熱移動現象であり、真空中であっても放射による熱移動は生じる。
 - 4 熱損失係数は、建物の断熱性能評価の指標であり、この値が小さいほど断熱性能が高い。

答え--- 2

中空層も18mmを越えるあたりから対流が発生する。そうなると中空層が厚くなっても断熱性能に変わりはない。

- No2 採光に関する記述として、最も不適当なものはどれか。
- 1 全天空照度とは、天空光が遮蔽されることのない状況で、直射日光を除いた全天空による、ある点の水平面照度をいう。
 - 2 形状と面積が同じ側窓は、その位置を高くしても、昼光による室内の照度分布の均斉度は変わらない。
 - 3 昼光による室内の採光では、一般に天空光を活用することを考える。
 - 4 ある点における間接昼光率は、壁や天井などの室内表面の反射率の影響を受ける。

答え--- 2

均斉度とは最大照度と最小照度の比である。最大照度側窓は形状と面積が同じ側窓の場合、高い位置にあるほど室内の照度の均斉度が上がる。

- No3 マンセル表色系に関する記述として、最も不適当なものはどれか。
- 1 マンセル記号で表示された「5 RP 3/8」のうち、数値「3」は彩度を表す。
 - 2 マンセル色相環の相対する位置にある色相は、互いに補色の関係にある。
 - 3 明度は、理想的な白を10、理想的な黒を0として、10段階に分割している。
 - 4 彩度は、色の鮮やかさの程度を表し、マンセル色立体では、無彩色軸からの距離で示す。

答え--- 1

数値「3」は明度を現す。彩度は「8」である。

H25年度1級建築施工管理技士試験問題と解答～解説、全82問がスマホやP C、タブレットでご覧になれます。
また、82問すべてのダウンロードや印刷も可能です。

**ここからは会員ページです。
ご覧いただくにはご入会が必要になります。**